

報道関係者各位

2020年4月21日

大東建託、20年3月末でZEH賃貸住宅の契約数が117棟に 2030年までにCO₂排出量の16%削減を目指す

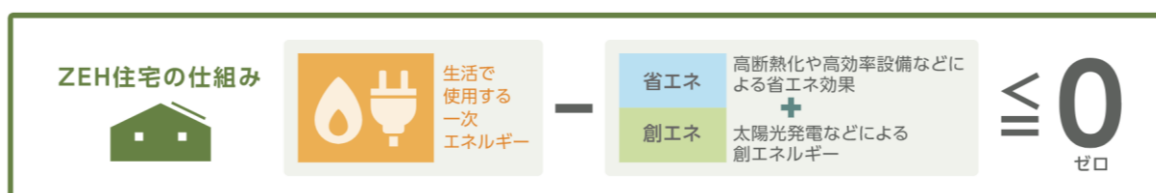
大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小林克満)は、2017年11月、静岡県で国内初となる戸建てのZEH※1基準を満たす賃貸集合住宅を完成させて以降、ZEH賃貸住宅の商品化に取り組み、2018年4月より、受電方式の異なる2商品「LUTAN SOLEIL(ルタンソレイユ/各戸受電方式)」と「LUTAN(ルタン/低圧一括受電)」を販売しています。2020年3月末時点で、契約数は117棟1,200戸となり、これらのZEH賃貸住宅によるCO₂排出削減効果は、約7万5,000t-CO₂(二酸化炭素トン)となる見込みです。

当社は、2018年5月、ZEHをさらに推進するため、経済産業省と環境省が登録制度を設けている「ZEHデベロッパ」に登録認定されています。高断熱複層ガラスや高性能断熱材の採用により、賃貸住宅の断熱性能を高めエネルギー消費量を削減し、さらに各住戸に接続する太陽光パネルを標準で搭載することにより、ZEH基準を達成する賃貸住宅を積極的に供給しています。

当社は今後も、ZEH基準を満たす集合住宅を供給する建設業者として、環境負荷の少ないZEH賃貸住宅の普及を促進し、2030年までに当社賃貸住宅の使用時に排出されるCO₂排出量の16%削減※2を目指します。

※1 Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略で、住まいの断熱性・省エネ性能を上げ、太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、建物で消費する年間の一次消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)の収支をプラスマイナスゼロにする住宅。

※2 温室効果ガス(スコープ3)削減目標(SBT認定取得済み)。



■大東建託のZEH賃貸住宅「LUTAN SOLEIL(ルタンソレイユ)」と「LUTAN(ルタン)」の特徴



「LUTAN SOLEIL(各戸受電方式)」外観イメージ

オーナー様と入居者様の双方がメリットを得られる各戸受電方式

日中発電した電力を入居者様が使用し、余剰分をオーナー様が売電する、オーナー様と入居者様双方が創エネメリットを受けられる賃貸住宅です。共用部に、災害時利用できる自立型のコンセントを設置しているため、太陽光発電中は入居者以外の方も使用することが可能です。



「LUTAN(低圧一括受電)」外観イメージ

低圧一括受電システムを用いた大東建託オリジナルZEH賃貸住宅

低圧での電力受電、余剰電力の売電、各住戸における太陽光発電電力の自家消費などを、電力会社との間で当社グループが一括して管理する低圧一括受電システムを採用した賃貸住宅。太陽光発電システムのリース料収入によるオーナー様の事業性向上や、入居者様の光熱費削減などのメリットがあります。

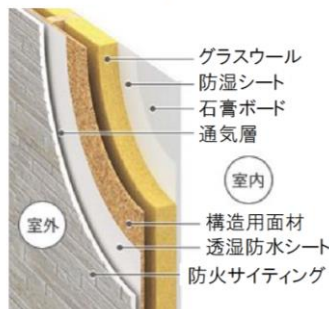
■大東建託の環境に配慮した住宅設備

当社は、入居者様が生活するうえで消費するエネルギー量とCO₂排出量を削減することを目的として、環境に配慮したさまざまな住宅設備の導入を進めています。

断熱性能

- **多層構造の外壁**
サイディングや構造用面材、グラスウールなどの多層構造の外壁により気密性・断熱性を高め、四季を通じて快適な住環境を保ちます。
- **機密性の高い壁式構造**
天井・壁・床の面を密着させる気密性の高い壁式構造です。
- **アルミ樹脂複合サッシ(Low-E複合ガラス)**
熱の出入りが大きい窓には、アルミ樹脂複合サッシを採用することで高い断熱性を確保し、夏は涼しく冬は暖かい住環境を実現します。また、冷暖房によるエネルギー消費を低減し、温室効果ガス排出量の削減に貢献します。

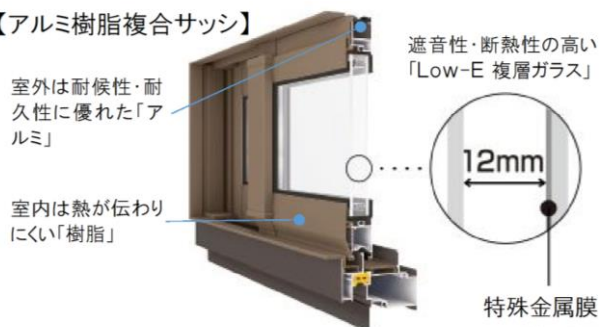
【外壁イメージ】



【壁式構造イメージ】



【アルミ樹脂複合サッシ】



省エネルギー

- **LED照明**
照明にはLED照明を用いることで、光熱費を抑え、環境にやさしい住まいを提供しています。
- **節湯C1対応水栓**
レバーが中央の時は、お湯にならない水優先吐水機能の付いたレバーにより、水とお湯を使い分けて節水が可能となります。

【節湯C1対応水栓】



当社は今後も、賃貸住宅の太陽光設備搭載と高断熱化、省エネルギー設備の設置を進め、地球環境、オーナー様、入居者様にメリットのある商品を開発していきます。

＜報道関係者 お問い合わせ先＞

大東建託株式会社 広報部 メール:koho@kentaku.co.jp

※直通電話(03-6718-9174)は、2020年5月6日までの期間停止されております。